



自衛隊群馬地方協力本部

JAPAN SELF DEFENSE FORCE GUNMA PROVINCIAL COOPERATION OFFICE

群馬県立勢多農林高等学校 ～防災講話を実施して～

准空尉 天田 宏昭

自衛隊群馬地方協力本部前橋募集案内所（所長 2等陸尉 土屋 章）は、令和6年6月18日、群馬県立勢多農林高等学校で全校生徒及び教職員約600名に対して防災講話を実施した。

学校の依頼により、職員及び生徒の防災意識の高揚を図ることを目的として、火災・地震・洪水などの災害から「生徒の生命の安全」を確保するために、緊急避難できる体制を構築するために必要な知識等について、土屋2尉がこれまでに従事した災害派遣の体験談、人命救助及び生活支援などの映像等を使用して、講話を実施した。

講話では、実体験に基づいたリスク、リスクマネジメント、リスク予測、防災の正しい知識・対策、防災グッズの紹介、質疑応答を行ったところ、生徒は真剣な眼差しで土屋2尉の話に聞き入り、多くの質問があるなど熱心に受講していた。

受講者からは、「災害は場所と時間を選ばない。皆が防災・危機管理意識を高め、日頃から防災対策を行う事が重要だと改めて感じました。災害時には心に寄り添うことも大切だと学びました。今日教えてもらったことを胸に災害に備えようと思いました。また、自分だけでなく家族にも伝えて取り組めます。」等の多くの感想を頂いた。

校長先生からは、「実体験に基づいた説得力あるお話を聞かせて頂くなど、多大なる協力を頂きましてありがとうございます。と感謝のお言葉を頂きました。」と感謝のお言葉を頂きました。

前橋募集案内所は、引き続き防災講話等を積極的に実施して、自衛隊の活動に対する理解を深めるとともに学校教育へ寄与していく。



令和6年度群馬県市町村自衛官募集事務担当者会議を支援 地方公共団体との連携を強化

募集課

自衛隊群馬地方協力本部（本部長 小久保 勝之 防衛事務官）は、令和6年6月26日（水）、新町駐屯地において、群馬県が主催する令和6年度市町村自衛官募集事務担当者会議を支援した。

本会議は、市町村の募集事務担当者との認識の共有及び連携の強化を図り、事後の効果的な組織募集の資とすることを目的として、平成24年度から実施しており、参加者は、群馬県総務部危機管理課、27市町村の募集事務担当者、第12旅団司令部、自衛隊群馬地方協力本部が参加した。

会議では、群馬県及び市町村による自衛官募集の取り組みに関する説明、自衛隊群馬地方協力本部からは自衛官募集、退職自衛官の地方公共団体防災職等への採用に関する説明を行ったほか、第12旅団司令部からは国民保護業務・措置に関する説明を行い、説明後の意見交換では、自衛官募集、国民保護等に関する各種質問が寄せられ、自衛官募集だけでなく、防災・国民保護等に係る理解の促進により、自衛隊と地方公共団体との相互の連携強化に繋がる会議となった。

会議後、新町駐屯地において体験喫食、資料館研修、災害派遣に係る装備品の展示説明が行われ、隊員の体験に基づく説明を熱心に聞き入り、装備品や防災に関して積極的な質問が挙がっていた。

自衛隊群馬地方協力本部は、部隊と連携して地方公共団体との関係・連携の強化を図りつつ、地本一丸となって、自衛官募集、再就職支援、予備自衛官等業務を推進していく。



会議の状況



装備品の展示・説明